

＝国体準備と社会福祉に重点＝

昭和44年度の県予算

予算は、県議会の初日におこなわれる知事説明をかわきりに本会議と委員会を通じて慎重に審議され議決されます。



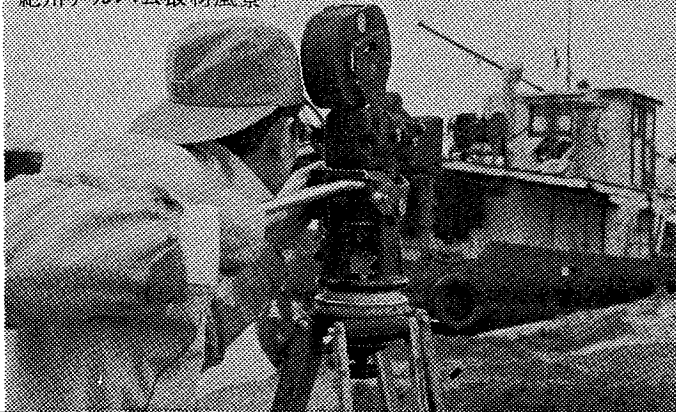
心とした「明るい生活づくり」
③道路を中心とする基盤整備、特性を生かした産業の振興、自然景観の保護と観光開発、さらに、山村振興などを中心とした「豊かな郷土づくり」
④交通・公害対策・消費者行政の充実強化と事務合理化の推進など「新しい行政課題の解決」
⑤開発推進の調査、県民との対話、市町村とともに「あすのとびらを開く努力」に重点をおきました……」
大橋知事は、二月県議会の初日、今年度予算をつくった基本的な考え方を、このように説明しました。
そして、この方針にしたがって一般会計で四百八十五億二千九百二十九万円、特別会計などの他会計を含めると、純計総額六百十三億二千六百六十四万一千円が、私たちの郷土、和歌山県をより発展させるために使われるのです。

飛躍する県土をめざして……

- ● ●
- ①国体を契機に
国体開催準備・新県民運動
- ②明るい生活づくり—社会開発—
社会福祉の向上、教育、文化
保健、住宅、治安対策
- ③豊かな郷土づくり—経済開発—
道路整備、農林漁業、産業の振興、
観光開発、山村振興
- ④新しい行政課題の解決
交通・公害・消費者対策、事務
の合理化
- ⑤あすのとびらを開く
市町村とともに、道路企画調査、
地域開発調査、県民との対話

「……四十四年度は、第二次長期総合計画の初年度であるとともに国体開催にそなえ、本格的な準備の年です。第二次長期総合計画は、県民全体のしあわせを願って各種のひずみを取り除き、昭和五十年代の郷土の繁栄と安定をはかることがねらいです。
道路を中心とする基盤整備を推進して、経済と福祉・文化のバランスのとれた県土にしたいと考えています。また、和歌山国体を立派に成功させなければなりません。国体を開催することは、もろもろの施設や生活環境を整備し、明るく、たくましい県民性をつちかうことなど、県政各般の画期的な躍進をはかり将来への飛躍台とするに大きな意義があると信じます。
こうした考えから、新年度の基本方針として、
①国体開催の本格的準備と、新県民運動の推進
②社会福祉の向上、教育の振興と青少年対策の強化、文化とスポーツの振興、保健と生活環境の整備、などを中

紀州アルバム取材風景

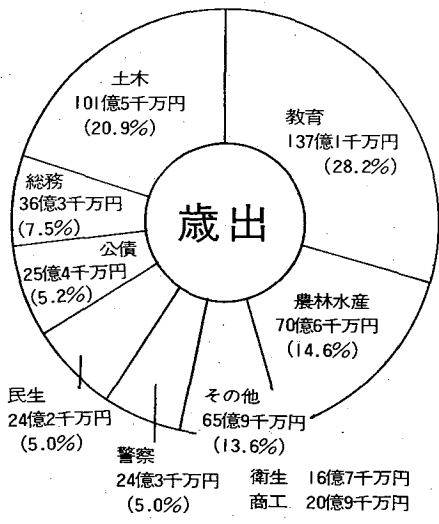


広報ガイド

★紀州アルバム
毎週土曜日
毎日テレビ／10：35～10：50
毎週日曜日
四国テレビ／7：45～8：00
●あすの技能者たち
—田辺高等技能学校—
毎日テレビ／4月5日・12日
四国テレビ／4月6日・13日
●知事と語る
—和歌山県の海運—
毎日テレビ／4月19日・26日
四国テレビ／4月20日・27日

★広報アワー
和歌山放送／12：30～12：35
県政マイクスケッチ〈土〉
県政の動きやお知らせ
〈月～金〉
★県政映画
紀州アルバム放映フィルムや
県政映画〈和歌山をひらく〉
カラー16分（いずれも16mmフ
ィルム）を貸し出しています
県事務所・県広報課まで

このように使います



道路整備に百十四億円

豊かになりつつある経済開発

交通量の増大と団体にそなえて、裏付けのある健全な債務負担行為を活用、道づくりを中心に、基盤整備事業は予算以上となっています。

道路では、阪和高速道路建設のための用地買収費五十億五千九百万円（うち債務負担行為四十九億六千四百百万円）、せがひでも団体に完成させるため、日本道路公団の用地買収費を県が立て替え、ことし八月までに用地買収を完了し、九月から着工させる予定です。大阪―和歌山―海南を結ぶ産業の大動脈となるわけですが、さらに紀南延長の計画もたて、調査をはじめます。

深谷トンネル着工

このほか、国道四十二号線紀三井寺の浦間の改修と海南バイパス、二十六号線バイパスの推進、国道百七十号線の橋本バイパスの用地買収、第二安論（あて）橋架設の国への働きかけ、

競技施設と道路に重点

国体準備・新県民運動

団体関係では、競技施設と主会場に通じる道路網の整備です。

紀三井寺競技場のサブグラウンド、クレイ射撃場、耐久高校体育館の改修、会場地町村の施設の整備を促進するための貸付金の新設、都市計画街路の新和歌浦中の島紀三井寺線、和歌山港鳴神線、高松都市改修も急ピッチで進めます。

親切運動を強力に

新県民運動（きれいにしよう）親切にしよう、たくましく鍛えよう、むだをなくせようの啓蒙では、国体会場地町村を花いっぱい、緑化のモデル地区に設定、南紀白浜空港、各駅など県外客を迎える玄関口や国道沿い、観光地、競技場周辺に花壇づくり、植樹を進めます。親切運動も強力に推進、和歌山市の内川の浄化ゴミ処理に力を入れました（写真）那賀町上名手保育所のよい子たち



県道では、西部縦貫道路の整備、船戸バイパス、周参見七川古座線の深谷トンネルの着工などがあります。

河川の総合開発では、日高川の椿（つばき）山ダム、広川治水ダムの建設、和歌山下津港ほか十一港の整備、南紀白浜空港に進出角指示燈を設置して、航空安全にも努力しました。

紀勢本線の複線化も、万を引上げました。ウメの流通改善対策として、東京にウメボシの備蓄倉庫を建設。

農業後継者の育成に、農村青年研修センターの建設、畜産試験場に畜産試験館、子牛育成センターの新設、乳用牛の優良な種おす牛を米国から直輸入するなど、畜産振興に力を入れました。また、農業近代化資金の

海中公園研究所

申本町

万博・団体をひかえ、観光対策も重要課題の一つ。

海中公園研究所は、申本町、浦海中、所、太地、町常渡半島開発の一部助成します。和泉から山系山系の保全開発計画を策定するほか、吉野熊野国立公園内に森林公園を設置するための調査の開始。護摩壇山、かつらぎ高原に給水施設、生石高原に野営場を設置。そのほか、観光センター制度の新設など、観光宣伝事業にも力を入れます。

学童給食に卵利用

山科コンサルタントが、今年度で終わるため、山村基盤の強化を市町村とともに真剣に考えていきます。

山村振興特別対策補助を昨年の三千万円から五千万円に増額、市町村の財政援助に八千五百万円、そのほか、道路整備も積極的に行動します。

交通指導員に賞じゅつ金

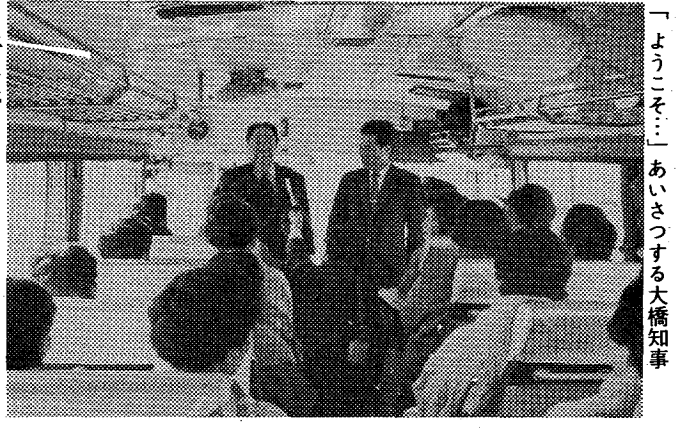
こどもの交通安全基金

激しくなる交通戦争。交通安全施設に四億円を計上。横断歩道橋、ガードレールのほか、盲人用の横断歩道を二カ所つくり、苦勞を願っている交通指導員さんが負傷した場合、最高百万円が負傷の見舞金をおくる賞じゅつ金制度交通安全事故

被害者に対する生活つなぎ資金の貸し付け制度、こともの交通安全基金制度を新設しました。

消費科学センターの設置調査。消費者の権利と利益を保護し、県民生活の安定と向上をはかるため、消費者や関係諸団体の意見をきくため、消費生活モニター、リ

近畿で初の「県政バス教室」



見よう・知ろう・話しあおう

県には、県民のみなさんと結びつく施設がたくさんあります。しかし、一体どんな施設があるのだろうか。なんの仕事をするところだろうか。と思っておられる方も多くいます。そこで、県でバスを仕立てて乗っていただき、おもしろい施設の見学をしてみようというのがこの「県政バス教室」です。近畿府県でも初めての試みで、三月三日の和歌山市内の家庭婦人百二十人を対象としたバス教室をかきわきに、三月八日までに四回延べ四百人の方々を紀南・紀北の二コースに分け、工業試験場や南紀白浜空港など十一の施設を見学していただきました。

カメラ・アイ

カメラ・アイ

発展へ努力を重ねている県政の姿をカメラにとらえた。あなたの写真、を募集いたします。

初回は、和歌山団体を控えて全県的に展開しています。「新県民運動」のうち、「親切にしよう」をテーマとした作品といたします。〈応募要領〉

○締め切り 5月10日

○白黒、キャビネ、0優秀作品は、県民の友などに掲げて発表。○版権は県に帰属。○裏面に住所氏名年齢職業と撮影意図を記入して、県庁内広報課までお送りください。

交通事故はこんな時に起る……

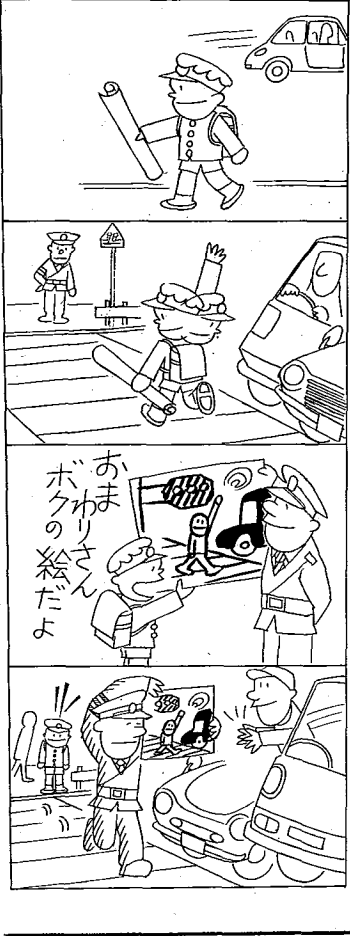
横断歩道や、横断歩道橋を必ず利用しましょう
親が、まず、正しい交通ルールを守り
お手本になりましょう。

子どもを交通事故から守る運動
4月8日(火)~4月19日(土)

和歌山県
交通事故を守る県民運動推進協議会



ボクの絵



485億円は

社会福祉施設を充実

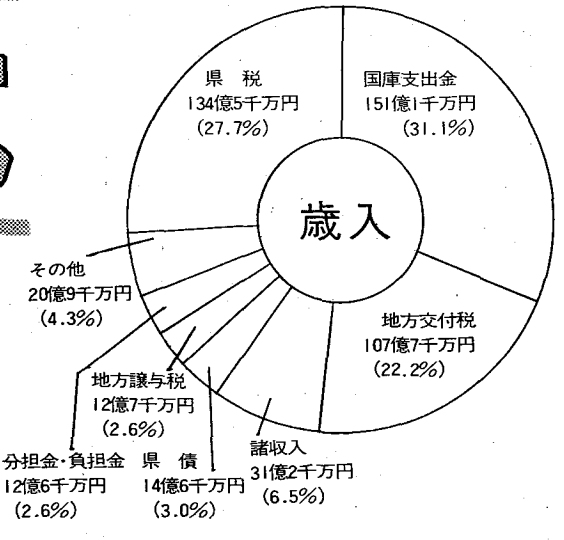
国体とならんで、社会福祉の充実も、ことしの予算の最重要点です。一般会計全体の伸び率は十一・四割に對して民生費は十八・六割と最高の伸びです。国体のしわ寄せが民生事業におよばないよう特に配慮しました。

新しい事業も多く、由良町に三年計画の予定で精神薄弱者施設、紀中地区二カ所に老人いこいの家、白浜町に母子寮、全市町村に心配ごと相談所の開設、それに、現在五人しかいない寝たきり老人の家庭奉仕員を二十五人に増員、民間社会福祉施設に働く職員の給与改善費三百万円を用意することにしました。

同和事業費を大幅アップ
同和対策事業費も約四億円と、昨年にくらべ四十八割の大幅アップ。保育所五カ所、自動学級四カ所、進学奨励補助金もふやすことにしました。

勤労者信用基金
県経済センター内に勤労者福祉センターを建設するのをはじめ、紀南に産業人いこいの家、大工・左官さんなど個人労働者の信用保証のために勤労者信用基金協会を設立。勤労青年大学講座を年二回にするとともに、定時制南紀高校の校舎を新築するなど、働く青少年の教育環境の整備にも努力をしました。

教育費の父兄負担軽減
父兄の一番関心の高い負担軽減では、学校需要費一人当たり千八百二十八円を二千三百円に増額。新宮・御坊商工高校に産業教育教室をつくるほか、田辺・耐久・新宮・海南高校など各高校の増設を進行。また、好評だった高校開放講座を二校ふやして十校に、明るい町づくりに近代公民館二館若もの広場九カ所、ちびっこ広場三十カ所の設置、それに、紀伊風土記の丘の用地先行取得、三九年計画だった和歌山市直川の青少年の森を、今年度中に完成することになりました。



ふえる新しい事業

- 新しい施設**
 - 明るい生活づくり-社会開発-
 - 由良町に精神薄弱者福祉施設
 - 全市町村に心配ごと相談所
 - 老人いこいの家2カ所
 - 白浜町に母子寮
 - 重症心身障害児施設の整備
 - 身障者福祉センター設置調査
 - 勤労者福祉センター
 - 産業人いこいの家
 - 定時制南紀高校校舎新築
 - 青少年の森・今年度中に
 - 紀伊風土記の丘
 - 高等看護学院に夜間進学課程
 - 公営住宅216戸建設 (和歌山市204戸高野口町12戸)
 - 豊かな郷土づくり-経済開発-
 - 阪和高速道路
 - 深谷トンネルの着工
 - 紀勢本線複線化の推進
 - 農村青年研修センター
 - 畜産研修館
 - 子牛育成センター
 - ウメボシの備蓄倉庫を東京に
 - 海中公園研究所
 - 護摩壇山・かつらぎ公園に給水施設
 - 生石高原に野営場
 - へき地保育所55カ所の設置運営補助
 - 交通・公害・消費者対策
 - 盲人用横断歩道
 - 公害防止施設に4千万円融資
 - 消費生活科学センター設置調査
- 新しい施策**
 - 国体準備・新県民運動
 - 市町村国体施設整備事業貸付金
 - 花いっぱいモデル市町村指定
 - 親切運動にサービス教育
 - 明るい生活づくり-社会開発-
 - 心身障害児(者)扶養保険制度調査
 - ねたきり老人家庭奉仕員の増員
 - 自動学級(識字教育)
 - 勤労者信用基金協会の設立助成
 - 学校需要費の増額(P.T.A負担減)
 - 秋に第2回県民文化祭
 - へき地患者輸送車購入
 - 医学生に修学資金貸与
 - 子どもの心臓手術に県費助成
 - 食品衛生検査車を購入
 - 伝染病追放に補助金
 - 豊かな郷土づくり-経済開発-
 - 漁業近代化資金3億円
 - 県外労働駐在員を設置
 - 和泉かつらぎ山系保全開発計画
 - 白浜勝浦地区観光開発計画
 - 観光モニター
 - 山村振興特別対策補助金の増額
 - 卵利用による山村児童給食実施
 - あすのとびらを開く
 - 市町村計画の策定
 - 道路事業費の地元負担軽減
 - 阪和高速道路の紀南延長調査
 - 紀伊水道の開発調査
 - 由良湾の開発調査
 - 紀南地域の開発促進調査
 - 海南~高野林道の新路線調査

高等看護学院に夜間の進学課程
保健所に勤務する医師を確保するため、大学の医学部のうち、卒業後、保健所に勤務を希望する者に修学資金を貸与する制度を新設。看護不足を補うため、県立高等看護学院に夜間の進学課程を開設します。

伝染病追放に補助金
子どもの心臓手術に、国の枠以外に、県単独で助成金を出しました。また、国体をひかえて、十五市町村

に、赤痢を中心とした伝染病追放の補助金を出す一方、消費者保護の立場から、食品の監視検査に機動性をもたせるため、食品衛生検査車を購入しました。

公営住宅を216戸建設
和歌山市に二百四戸、高野口町に十二戸の公営住宅を建設するとともに、県開発公社、県住宅供給公社でも引き続き宅地造成、持ち家制度の促進をはかります。

二割の伸び率となります。
(規模) 六百十三億二千六百六十四万二千円。県予算の一般・特別・企業三会計を通じた純計です。このうち、県民生活と密接に關係のある一般会計で、四百八十五億二千九百二十九万円。前年当初に比べ、十一・四割の伸びです。
このほか、阪和高速道路の用地買収費四十九億円をはじめ、工事関係の債務負担行為総額四十八億余万円があり、これをあわせると総計五百四十億余円の子算となり、実質的には二十

613億26百万円
一般会計 485億29百万円
特別会計 94億52百万円
企業会計 47億80百万円
純計

秋に県民文化祭
文化面では、県民文化会館の建設二年目として五億円を計上。秋には、第二回県民文化祭を開催します。スポーツ指導者育成のため、スポーツ実技研修会、講習会を開催。和歌山市内に公園プールの建設をするための調査を開始。田辺ほか一高校に格技場、耐久・田辺商高校にプールを新設します。

市町村とともに
第二次長期総合計画の策定による地帯構想に適應した市町村計画をすすめるための助成や、財政援助に八千七百万円、振興資金貸し付け制度の充実にくわえ、自動車取得税の交付、道路事業の地元負担金の軽減など、市町村への財源付与に力を入れました。

また、阪和高速道路の紀南延長、紀伊水道開発、由良湾開発、紀南地域開発、海南~高野林道新路線、そのほか道路網の整備拡充など、和歌山県のあすのとびらを開く計画を開く計画も考慮。

動く県庁や広報モニター増員、県政に対する県民のみなさんご意見を聞く広報広聴活動にも力を入れました。

三、歌がわく
歌がわく
恵みゆたかなふるさとの明日へはばたく躍動を
かがやく大地にしめそうよ
おどれ肩くめ手をつなげ
町から村から 職場から
ああスポーツの歌がわく

昭和46年

第26回和歌山国体

一、友は呼ぶ
友は呼ぶ
いぶきあふれるくろしおに
生きるしるしをよここびを
きらめく大地にたたえよう
走れ 風きれ 土をけれ
山から 海から 野原から
ああスポーツの友は呼ぶ

紀北⇄大阪グンと短縮

待望の「紀見トンネル」完成



開通した紀見トンネル

国道百七十号線は、紀北と大阪を結ぶ唯一の産業道路であり、また、京阪神方面から高野山に通じる観光道路です。

ところが、橋本市柱本から標高四百八十三分の紀見峠を越えて河内長野市上天見までの五・八は、この

二千百万円の工費と、延べ四万九千二百五十人の人々の手によって、この三月に完成したものです。

トンネルは、延長千四百五十三分(県内最長)、両側に歩道、照明、防火設備を完備、四十四年から二カ年計画で換気装置を取り付ける予定で、完成すれば名

国際的視野を広めて

勤労青年大学海外研修団

青年の国際的視野を広め指導者としての素養をたかめるため、県ではことし初めて「勤労青年大学海外研修」を実施しました。

昨年夏、二十日間にわたって開講した「勤労青年大学講座」の参加者のうち、地域青年団から、矢川鉄雄君(和歌山市、二十歳)柳谷玉子さん(中辺路町、二十歳)の二人が、職域青年から、山本勝君(和歌山市、二十五歳)が選ばれ、二月

四日から十九日間東南アジア七カ国を訪問し、かすかすの成果を収めて、二月二十三日帰県しました。

一行はまずフィリピンにたち寄り、マニラを中心としたこの国の人々の生活実態にふれ、自動車を中心とする日本商品の進出状況をつぶさに視察、シンガポールでは、ジュロン工業地帯における日本企業の進出と、そこに働く日本人たちの技術の優秀さをその目で

みつめ、マレーシアでは、首都クアラルンプールの青年会館や、青年訓練所で、現地の青年たちと生活を共にし、文化青年スポーツ省を独立させて、青年対策に努力している姿を、生活をとおして学びました。

そのほか、タイでは、メナム河ですべての生活を処理する人々の実態を知り、台湾大学を訪れて、教授や大学生と話しあったり、沖縄では、南部戦跡をまわっ

て紀の国の塔におまいりしました。

そして、これらの研修を通じて、故国日本のよさを知り、日本人の優秀さを再確認するとともに、現地青年や関係の人々にふれて、その民族風習を学び、生活を共にして、共同で日本庭園をつくったり、バレーやバスケットや卓球などに興じ、人間的な交わりを深め、意欲的に話しあって、研修の実をあげてきました。

県議会だより

交通対策特別委員会
一月十六日から三日間、川原を訪問し、金沢市内とその周辺の交通機関であった北陸鉄道が、赤字経営と交通

緩和のため撤去されたこととが、本県和歌山市内の軌道線撤去問題の参考になるので、関係者にお集まり願ひ、種々懇談しました。

山村振興対策特別委員会
一月十六日から上京して本県振興山村指定の増加へき地小規模学校に対する適正な国の施策、山村地方道の整備促進などについて政府関係機関に強く陳情しました。

厚生委員会
一月二十一日から四日間、大阪府立身体障害者福祉センター、京都府向日が丘養護学校、同療育園、愛知県心身障害者コロニーを視察して、そのすぐれた近代的設備や特徴について調査研究し、また、京都府議会では、関係者から、府の福祉行政、同対策など種々の事情を聴取しました。

本県とよく似た栃木県の砂利採取現場を視察し、議会議務局と建設局栃木工務事務所、その実情を聴取しました。

中小企業振興対策特別委員会
一月二十一日から、千葉、埼玉、群馬、栃木、徳島、愛

活発な調査研究活動

常任・特別委員会最近の動き

原子力発電所問題調査特別委員会
一月二十三日から三日間、東京都の町会館と麹(こうじ)町会館で、科学技術庁、水産庁全漁連の方々にお集まり願ひ、原子力発電所問題の安全性や放射能などによる漁業問題について活発な質疑を行いました。

砂利対策特別委員会
一月二十八日から三日間、

香川、愛媛と、それぞれ三班に分かれて訪問し、各県の中小企業対策の現状や、将来への企画をはじめ、各種試験、センターなど、公共施設の実情を調査研究しました。

農林委員会
二月三日から三日間、紀南地方の農業用施設、稲成開拓パイロット、各試験場を視察し、農業関係者と種

二月十九日から四日間、茨城、千葉両県と国立国会図書館を視察し、将来の図書館のあり方、議員活動のための図書資料収集保管活用などについて調査研究しました。

公害対策特別委員会
二月二十四日から三日間、関西電力堺発電所、神戸製鋼所神戸工場、大阪府公害監視センターを視察し、公害対策施設の状況や処置について調査研究しました。(県議会事務局)

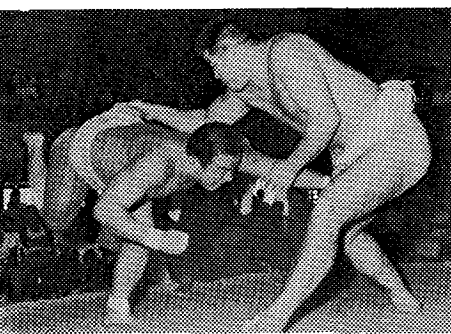
王座を守りぬく!!

練習量と根性で

「かつてよい中学生が多く、相撲にそこがれる者がいない」と嘆く県相撲連盟理事長・稲田一郎さん

三年前の大分国体で総合優勝、一一般の部優勝と、全国アマチュア相撲界の王座に君臨してきた和歌山県だが、材の不足が続く人材不足が大きくなっています。

「まず、高校と教員の部は、選手づくりです。とにかく、和歌山市内のどの中学校にも相撲部がないありさまです。」「連盟理事・日本相撲連盟公認審判員の庵野さん。

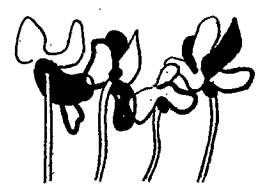


この一番にかけて

二人の言葉から、相撲チームの必勝の信念がうかがえるようでした。

「和歌山国体まであと三年。練習量と根性で守り続けた王座です。ファンを期待を裏切れません。選手たちの間にも、その覚悟はできています。抱負は、もちろん勝つことです。」「種目別の完全優勝」ですと稲田さん、庵野さん。

おしらせ



龍門芸術の集大成
県立美術館で保田龍門展

和歌山県立美術館では、郷土が生んだ偉大な芸術家「保田龍門」の、絵画、彫刻、デザインなど約三百点を集めて、展示公開します。

会期 四月十八日(木)～五月七日(水)
毎日午前九時三十分から午後五時まで
会場 和歌山公園内 県立美術館
入場料 大人 百五十円、学生 百円、小中学生 七十円 (二十人以上を団体扱いとし、それぞれ 百円、七十円、四十円に割り引き)

ミス万国博募集
日本万国博覧会協会では、会場内で観客の接遇案内をする「ミス万国博」を募集しています。

募集人員 県内五人
応募資格 (1)日本国籍を有する心身ともに健全な独身女性 (2)応募から赴任まで県内に住民登録を行なっている方 (3)昭和四十四年三月十五日現在で、満二十四歳未満の方 (4)昭和四十四年三月までに高等学校卒業以上の学歴を有する方
身長は 一五五センチ以上、一七五センチ以下 (5)視力は 矯正で〇・七以上 (6)日常の挨拶、場所の案内程度の英会話能力を有する方

選考 筆記試験と面接および身体検査。
応募方法 四月三十日まで、応募申込書に住民登録簿、履歴書を添えて、和歌山県小松原通り二丁目、県企画部企画総務課内、万国博和歌山県推進委員会(電話六一一―一内線三〇〇)まで。

雇用促進融資の募集
雇用促進事業団では、次のとおり昭和四十四年度の雇用促進融資の募集を行なっています。

貸付対象となる施設 住宅、寄宿舎、浴場、体育施設、食堂、炊事場、託児所、集会所、図書室、売店、職業訓練を行なうための教室、実習場、身体障害者作業場および建設または水産加工用の機械・設備など。

受け付け 四月一日～五月三十一日
申し込み先 建設予定地の取り扱い金融機関(銀行・相互銀行)

その他詳細は、県失業保険課または職業訓練課、公共職業安定所、労働基準局、労働基準監督署、住宅金融公庫へ。

野鳥写真コンクールと野鳥愛護ポスターの募集
締め切り 四月三十日(水)
送り先 各県事務所林務課
【写真コンクール】
入賞 特選二点、入選二点、佳作二点
募集対象 和歌山県民で、県内に撮影したもの。
規格 白黒は原則として四ツ切り、カラーはキヤピネ
出品点数 一人二点以内(組写真はなるべく二点以内にする)
【ポスター】
入賞 特選五点、入選五十点、佳作百五十点
募集対象 県小中学校および高等学校の児童生徒

資格試験
試験日 六月八日(日)午後二時～三時
場所 桐蔭高校、新宮高校
願書受け付け 五月八日(木)～十三日
県庁土木部建築課、各土木事務所(和歌山を除く)
なお、願書用紙は、四月二十日以後、

知事に手紙を
県民の皆さんが、なにを考えた、なにを県政に望んでいるかを、直接お聞きするため、昨年五月から始めています。

毎月、多数の方から手紙をいただいております。県政運用の貴重なご意見として参考にしています。

手紙をいただく、知事が直接読み、さっそく返事を添えさせていただきます。どんなことでも結構です。さらさらお気軽に手紙をお寄せください。

「あて先」
和歌山県知事 大橋正雄